

松浦市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン・総合戦略」の全体像

人口ビジョン

中長期展望(2060年を視野)

人口減少問題の克服

◎2060年に社人研※1の人口推計に準拠した推計値より約5,000人の人口増

- ・2060年人口見通し 16,000人程度 (社人研推計準拠: 10,860人)
- 希望出生率の実現
 - ・2008年～2012年の合計特殊出生率は1.94※2
 - ・2015年のアンケートでは、希望出生率は2.20※3
 - ・2030年に希望出生率を実現
- 社会増減の均衡
 - ・2013年の社会移動減少者数は、300人程度※4
 - ・特に若者の転出が多い
 - ・2040年に社会移動均衡

※1 国立社会保障・人口問題研究所
 ※2 平成20年～24年人口動態
 ※3 2015年 長崎県アンケート
 ※4 長崎県移動人口調査

総合戦略(平成27年度～31年度の5カ年)

将来像	基本目標	主な重要業績評価指標	主な施策
住みたい・住み続けたいまち 松浦	しごとの創生	魅力ある産業を育て、就業機会の創出 市内従業者数 100人増/5年間(H25:1,626人)	地場産業や企業の魅力について地域内・外への情報発信 中学校・高校生(近隣含む)・保護者対象の地元企業紹介やインターシップ支援 地元企業人材育成への支援(セミナーや専門家の招へい) 6次産業化への支援
		新たな雇用の場を創出 企業誘致による雇用者数 150人(新規) 創業した人の数(5年間) 40人(H26:2人)	企業誘致活動 創業への財政的支援(融資制度の整備) 創業セミナーの開催 教職員等の住宅、官舎や空家を活用したチャレンジショップ事業・レンタルオフィス等の整備
		交流人口を拡大 年間交流人口 850,000人(H26:581,364人)	体験型旅行の新たなメニュー開発と民泊受け入れ家庭の拡大支援 鷹島海底遺跡と観光産業の融合(元寇船のVR(バーチャル・リアリティ)技術を活用した再現) 福岡シティプロモーション事業の推進 市内観光施設における公衆Wi-Fiの整備促進
	ひとの創生	結婚・妊娠・出産・子育ての包括的な支援 合計特殊出生率 2.07(H20～24:1.94)	出会い創出事業 子育て世帯への経済的支援の充実 子育て相談・地域子育て支援拠点の充実 仕事と子育ての両立への支援
		学校教育・生涯学習・文化活動等の充実 国語・算数(数学)の授業が分かると回答する児童生徒の割合 80%	子どもの豊かな体験活動の推進事業(企業見学や職場体験など) 英語を使って簡単なコミュニケーションができる子どもの育成事業 松浦高校魅力化プロジェクトの推進 子どもたちが地域の歴史や伝統行事などを取材し、市報へ掲載するコーナーの開設
		若者の域外流出の抑制 15歳～44歳までの転出者の抑制率 20%(H25:613人)	地元企業の就業の場としての魅力発見・魅力体験事業(セミナー・バスツアーなど) 1次産業の就業者支援施策の充実と新たな事業を起こすための支援 産業界、県内大学、行政が連携した就職情報の発信 合同企業説明会の開催
		移住戦略を推進 転入に際して他の地域も検討したが、本市を選んだ世帯 の数(5年間) 100人(H26:—)	移住ワンストップ窓口の整備 空家を再生した移住お試し住宅の整備 農山村での耕作放棄地や空家などを活用した田舎暮らし希望者のニーズに合わせた支援事業 県と連携した都市部における移住相談会
	まちの創生	誰もが安心して生活できるまちづくり 健康寿命(H22:男78.51 女:83.68) 延伸	医療体制の確保(在宅当番医制、夜間輪番体制の維持) 障害者就労施設と行政、地元企業等の連携による域内優先調達の推進 地域と連携した介護予防地域支え合い事業(生きがいつくり活動事業)の推進 自主防災組織の設立促進
		住環境の整備などによる住みやすい環境の整備 転入者による住宅取得奨励制度の活用件数(5年間) 10棟(H26:—) 空き家の活用件数(5年間) 10棟(H26:—)	住宅や住宅用地の取得奨励制度の推進 多世代居住のための住宅整備への支援 老朽危険家屋除去支援事業 新生活応援事業(ふるさと就職奨励金・賃貸住宅入居奨励金・新婚生活応援金など)